

旅行取扱状況の概観（平成29年7月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比127.3%と前年を上回り、一般団体は同131.5%と前年を上回り、団体旅行合計で同129.9%と前年を大きく上回った。企画旅行については前年比115.4%と前年を上回り、個人旅行については同105.1%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比115.6%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比97.0%と前年を下回ったが、一般団体は同112.7%と前年を上回り、団体旅行合計で同105.1%と前年を上回った。企画旅行については前年比99.2%と前年を下回り、個人旅行については同84.1%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比97.2%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比122.6%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の7月の総取扱額は前年比103.8%となり、前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、学生団体はロングポジションの研修旅行の取扱人数の拡大および取扱単価の増加などにより、前年比127.3%と前年を上回り、一般団体は大型団体などの取扱い増加により、同130.4%と前年を上回った。

この結果、海外団体旅行合計で前年比129.2%と前年を大きく上回った。

国内団体については、学生団体はスポーツイベントなどの大会の取扱人数が増加したが、修学旅行などの取扱人数の減少により、前年比97.0%と前年を下回った。一般団体は企業系コンベンションなどの取扱の増加により、同112.8%と前年を上回った。

この結果、国内団体旅行合計で前年比105.1%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比108.8%と前年を上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、関東、九州、沖縄、伊勢志摩方面などが前年を上回ったが、他の方面が伸び悩み、取扱額で前年比94.2%と前年を下回った。

ホリデイについては、方面別取扱人数の状況では、アメリカ方面が前年を下回ったが、その他の方面はほぼ前年を上回り、取扱額で同122.6%と前年を上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、ヨーロッパ方面が好調に推移した。バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道の道東・道北、東北、関西方面が好調に推移した。バス旅行部門は、関西発の上高地やアルペンルートや首都圏発の日帰り北関東などが好調に推移した。テーマ旅行部門は、海外ではアフリカ等のSITエリアが好調に推移した。また、国内・海外いずれも1日の見学箇所を絞ったゆったり行程の旅が好調に推移した。

この結果、総取扱額は前年比106.7%となり、前年を上回った。

以上